



7月13日(水)

2022年(令和4年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



全人類の幸福と平和を願う

事業活動を通じて社会課題の解決に取り組む「LIFULL」の井上高志社長が「#地球塾2050」で講演しました。参加した東京都千代田区立麴町中学校の1〜3年生20人に「自分たちの手で求める未来を作ることができる」と呼びかけました。

深く考えるきっかけに

「私の人生の目標は世界の平和と人類の幸福」。井上社長の言葉だ。

世界平和は私も大切だと思う。国と国が戦争をする让世界が全面的にダメージを受ける。戦争が今起きていて、物価の値上がりなどは問題になっている。そうすると理想を現実にできない。そのため今、井上社長たちが奮闘してくれている。井上社長たちがつないでくれるバトンを、私たちがつなぐのが大切だと思う。



この大きなプロジェクトで、井上社長は小さな目標から達成している。私も大きな目標を持ちたい。また、大きな目標に立ち向かう時、今できることは何かを考えて行動したい。

(三原彩音)

私たちにできること

皆さんは「貧困をなくし、世界平和をもたらすための第一歩は、何だと考えるか」と、聞かれたらどう答えるだろうか。

井上社長は「『世界平和と人類の幸福』をかなえるためには、心、社会システム、テクノロジーを組み合わせて、人類を場所、時間、お金の制約から解放し、ウェルビーイング(幸福)を高める必要がある」という考えのもと、起業という大きな一歩を踏み出したという。

では今、中学生の私たちができることは何だろう。それはまず、日々の生活の中で、あらゆる身の回りの出来事と、平和や幸福感をリンクさせて考えることではないだろうか。考えた先に、次は可能性を検証するための行動を起こすことができる。まずは平和と幸福を実感することが必要だと思う。

(脇遥香)



地球塾からのメッセージ

あなたは今、幸せに暮らしているだろうか。「幸せな暮らし」とは、平和で安定的な生活が保たれることである。しかし、その幸せや平和は誰もが手に入れているわけではない。その幸せや平和を得るために、財産の奪い合いによって戦争などの争いがおこることがある。

そこで井上社長は、「誰もが公平に、水、食料、住まい、教育、働く、医療、エネルギー、通信の制約か

ら解放されれば、富の奪い合いの必要がなくなり、争いは起きないのではないか？」と考え、「世界の平和と人類の幸福」を人生最大の目標とした。

私はこのことから、人類の幸福を目標として、他人の利益を考えて計画し、自ら行動できる人になりたいと思った。

(服部晃子)

那須から世界へ

「世界平和と人類の幸福のために」。井上社長はこう語る。自身が100歳になるまでに、国家間の紛争がない世の中を目指しているそう。その一つが栃木県那須町のプロジェクトだ。

井上社長は、那須にある自治体と連携した東京ドーム170個分の広大な土地で、21世紀社会のためのイノベーションの共創・実証実験・社会実装を進める国内最大級のリビングラボ・プロジェクト「ナスコンバレー」を始めた。自分だけでなく人のために働く井上社長だからできる世界的なプロジェクトだ。次世代モビリティ、ドローンなど、この先の社会をも見据えているのだ。

(玉川煌海希)